

都立光丘高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：濱上、加藤、大澤）（2組：濱上、加藤、大澤）（3組文系：大西、宮森）（4組文系：大西、宮森）（5組：濱上、加藤、大澤）（6組：濱上、加藤、大澤）

使用教科書：（新編古典探究（東京書籍））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をも

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		話	書	読					
古文に親しむ 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 主語を確認しながら、語のあらすじを読み取る。 登場人物の心情を読み取る。 教材 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
古文編1部2「随筆を読む」 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えていること。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 主語を確認しながら、語のあらすじを読み取る。 登場人物の心情を読み取る。 教材 徒然草「丹波に出雲といふ所あり」 一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。 ・「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1
古文編1部4「和歌の世界」 【知識及び技能】 古典などを読むことを通じて、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 「君がため…」の歌について、筆者が「視覚」「心情」それぞれ面からどのように評価しているかを確認する。 教材 小倉百人一首より 一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容的に捉えている。	○	○	○	7
素文編1部1「故事と小話」 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓詁のきまりについて理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	指導事項 1 本文を正しく音読する。 2 脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 教材 戦国策「蛇足」 一人1台端末の活用 等		○		【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○	○	○	7
定期考査			○			○	○		1

2 学 期	古文編1部4 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1全文を繰り返し音読し、その構成と内容を捉える。 2「人」と「酒」と、「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点について考える。 3「無常を争ふさま」とはどのようなことを踏まえて、「方丈記」で描かれる「無常観」について考える。 ・教材 方丈記「ゆく河の流れ」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○	○	○	7
	漢文編1部2 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1それぞれの作者について理解する。 2詩を現代文として読む。 3それぞれの詩の内容を捉える。 4唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。 5正確な現代語訳をする。 6繰り返し音読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。 7漢詩を読み取る。 ・教材 「静夜思」「送元二使安西」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○	○	○	7
	定期考査							1	
	古文編1部5 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1当時の月日や時刻の呼び方について知る。 2この章段に書かれている旅立ちの事情を読み取る。 3羅文化表現、機知を感じさせる表現を指摘し、この作品の特色を考える。 4冒頭の一文から、作者がどのような日記を書こうとしているのかを考える。 ・教材 土佐日記「福京」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	○			7
	漢文編1部2 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1本文の前半（一九一・一「騎之」まで）を音読する。 2句法に注意して本文前半を書き下し、現代語訳する。 3本文の後半（一九一・一「致地」以降）を音読する。 4句法に注意して本文後半を書き下し、現代語訳する。 ・教材 「四面楚歌」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○			7
定期考査							1		
3 学 期	古文編1部5 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 1本文を読み、作者の育った東国の生活について理解する。 2作者の物語への憧れについて整理する。 3門出にあたっての作者の心情を読み取る。 4作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。 ・教材 更級日記「門出」 ・一人1台端末の活用 等			【知識及び技能】 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。	○			7
	漢文編1部2 【知識及び技能】 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 【思考力、判断力、表現力等】 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】	1本文を繰り返し音読する。 2正しい訓読をもとに語彙を調べ、正確に現代語訳する。 3「塞翁」と周囲の人々の場面ごとの言動を確認する。 4本文に述べられている「禍」と「福」について順番に指摘させ、ノートにまとめる。 「塞翁が馬」			【知識及び技能】 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増やすことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。	○			7
	定期考査						1		
合計								70	